

1 調査名称：鹿角市総合都市交通体系調査

2 調査主体：鹿角市

3 調査圏域：鹿角都市計画区域

4 調査期間：令和6年度

5 調査概要：

鹿角市の都市計画道路は、延長 35,270mが都市計画決定されているうち、17,992mが整備済みとなっている。整備率は 51.0 パーセントであり、平成 18 年の毛馬内下川原線のバイパス整備を最後に長期にわたり未着手となっている路線があることから、未着手路線についてはその必要性や実現性を再検討する必要がある。

鹿角市都市計画マスタープラン（令和元年度改訂）において、まちづくりに向けたネットワークの強化として、少子高齢化による人口減少などの社会情勢や将来の需要動向を見据えた見直しを計った上で長期未着手となっている都市計画道路について整備を進める方針であり、これからの都市計画との整合や事業性の観点等から総合的な検証を行い、長期的な視点で持続可能な都市に向けた取組（コンパクト・プラス・ネットワーク）を推進するものである。

## I 調査概要

1 調査名称：鹿角市総合都市交通体系調査

### 2 報告書目次

#### 1 章 調査概要

- 1－1 業務の目的
- 1－2 業務概要
- 1－3 業務項目
- 1－4 業務対象箇所位置図
- 1－5 作業のフローチャート

#### 2 章 審査会資料

- 2－1 見直し背景
- 2－2 見直し検討結果
- 2－3 見直しをしない場合のデメリット
- 2－4 変更内容

3 調査体制

なし

4 委員会名簿等：

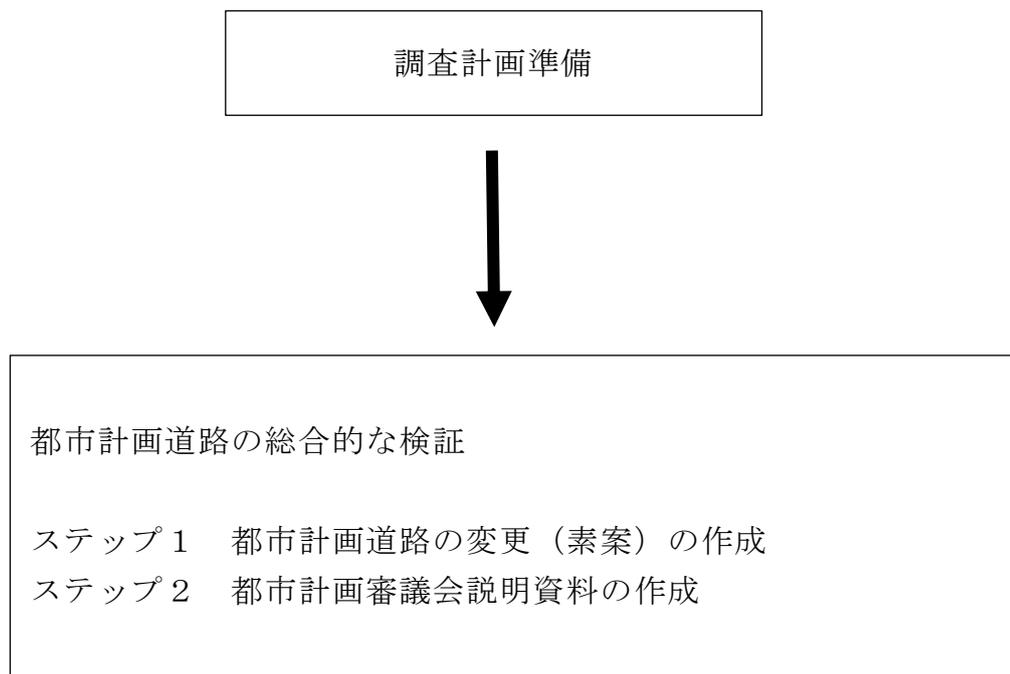
なし

## II 調査成果

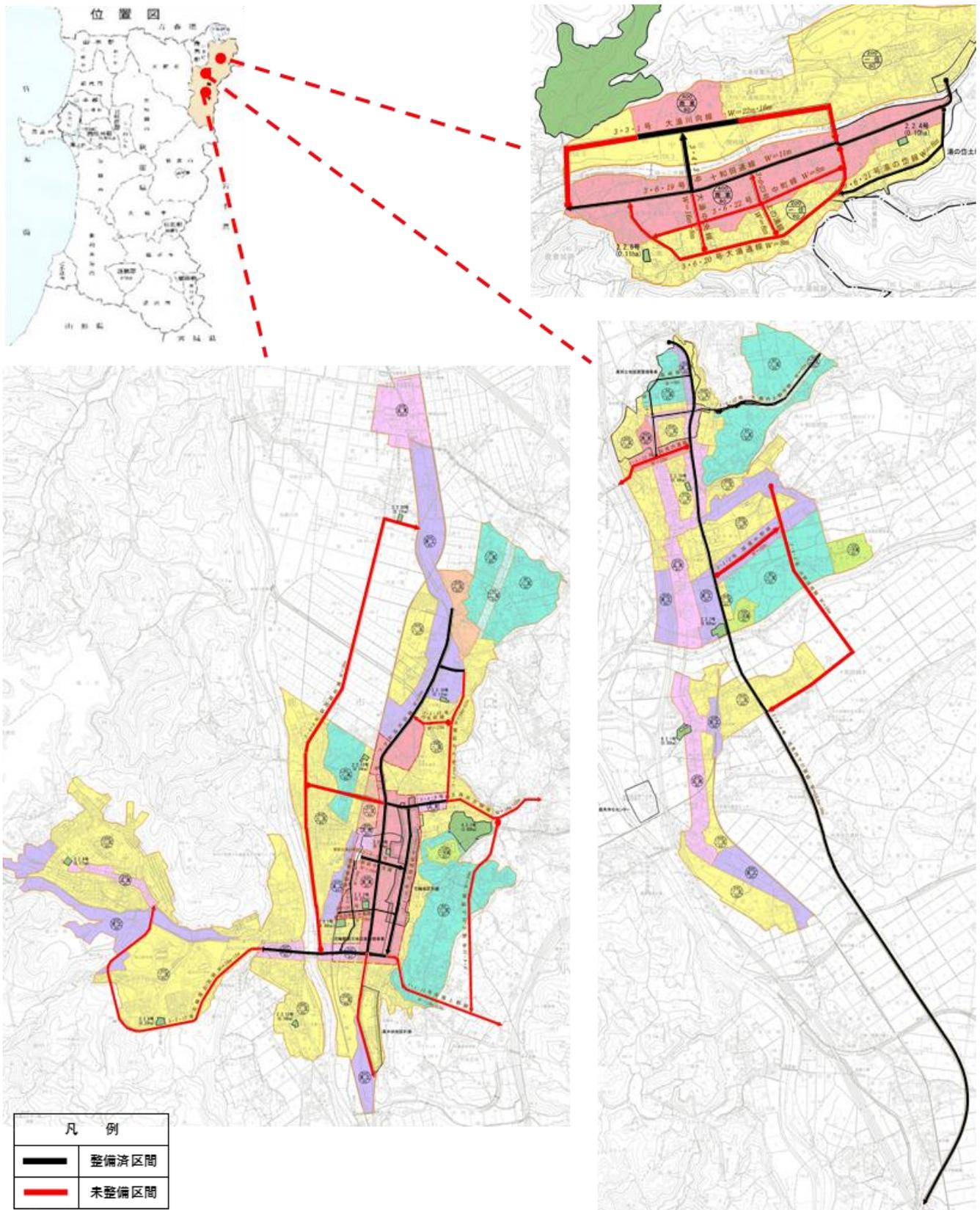
### 1 調査目的

本業務は、市内の都市計画道路の現状分析、将来交通予測、整備効果の検証を行い、市内の都市計画道路の見直しの方向性を検証することを目的とする。

### 2 調査フロー



### 3 調査圏域図



#### 4 調査成果

都市計画道路の総合的な検証により作成した都市計画道路の変更（素案）について、パブリックコメントの実施及び鹿角市都市計画審議会による審議を経た上で、都市計画道路の変更を行った。